

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	技術開発支援事業(共同研究)	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	大学連携等による調査研究事業		事業区分	助成(応募型)	

1. 事業目的

公募型助成事業の一環として、北陸地域の社会資本整備に係る地域づくり、産業振興、建設技術等に関する課題の解決に向けた技術開発、調査研究を行う研究グループを支援し、地域のさらなる活性化と振興を図る。

2. 事業実施体制

◆共同研究

「防災・減災の技術開発から人が繋がる地域活性化への取り組み」
 ー石川県中能登町の広域斜面崩壊に対する平成28年度研究助成事業成果を発展させ、地域に寄り添った防災・減災をめざすー
 川村 國夫(金沢工業大学教授)他7名

3. 事業実施概要

◆共同研究<継続>

平成28年度、石川県中能登町を対象に、広域斜面危険度判定システムから抽出した危険斜面の溪流氾濫や土石流の危険箇所および航空写真や遺跡調査から災害危険度を取り入れた新たな防災ハザードを示した。

本年度は、この成果を発展させ、地元中学生との防災活動を通じて、各地区の危険性や避難所の課題を解決し、安全・安心な町づくりを目指す。同時に、防災にとって人が繋がることの重要性を伝え、地域活性化に取り組んだ。

今年度の主な活動は以下のとおり。

- ・「防災・減災学習」町立中能登中学校1～3年生(6月8日～6月20日)
 - ・生徒の現地体験学習(7月27日、8月2日)
 - ・生徒による「手作り防災マップ」作成(8月1日～8月9日)
 - ・防災活動の発表、生徒と行政担当者との意見交換会(9月26日)
 - ・中能登中学校防災避難訓練(10月3日)
 - ・西馬場地区防災訓練・防災教育セミナー他(11月12日)
- 検討会は、5月、8月、12月の3回実施した。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

地方が抱える課題や地域の安全・安心のため、土砂災害危険地域の防災対策および地域活性化に関する調査研究を実施した。防災・減災の技術開発から人が繋がる地域活性化への取り組みは災害に強い地域を目指し、同時に地域の活性化を図るため、地元中学生に働きかけ、さまざまな取り組みを行うことで安全・安心な地域づくりの実現に寄与した。

各研究者の専門性を活かし、地域の将来を担う若者世代と取り組んだことで地域の活性化が一層促進されると期待される。



中能登中学校防災・減災学習(H29.8.1～9)

中能登中の生徒による活動発表・意見交換(H29.9.26)



報告書

平成29年度 一般社団法人北陸地域づくり協会共同研究助成事業
 「防災・減災の技術開発から人が繋がる
 地域活性化への取り組み」
 ー石川県中能登町の広域斜面崩壊に対する平成28年度研究助成
 事業成果を発展させ、地域に寄り添った防災・減災をめざすー

報告書

平成30年3月

【広域斜面危険度判定システム研究会】
 金沢工業大学 環境建築学部 環境土木工学科
 金沢大学 環境デザイン学系
 株式会社、日本橋コンサルタント、株式会社 赤ウツ地産